

東日本支部講演会・ウェビナー：テーマ「Time to Market」

演題：車両開発期間短縮の課題と革新的アプローチ

講師：AVL Japan K.K 代表取締役社長 米玉利 貞幸 他3名



日時：2025年8月27日(水)15:00～16:30

会場：日本自動車部品工業会 701会議室

〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15 自動車部品会館7F

アクセス <https://www.japia.or.jp/access/>

Web参加の場合：Zoomのウェビナーを使ったライブ配信セミナー

お申込みについて 視聴をご希望の方は以下の参加申込フォームから必要事項をご入力ください。

参加申込フォーム：<https://www.japia.or.jp/koenkai250827/>

申込〆切：8月21日(木)まで

会場参加16名／Web参加500名 ※定員に達した場合は募集を終了させていただきます。

Web参加の方にはご登録をいただいたメールアドレスへ前日までに視聴URLを送信します。

本件に関するお問合せ：JAPIA東日本支部 坪井 tsuboi@japia.or.jp

講演概要・講師略歴

テーマ：車両開発期間短縮の課題と革新的アプローチ

講師：AVL Japan K.K 代表取締役社長 米玉利 貞幸 他3名

講演概要

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 1. 車両開発期間短縮における課題とAVLの取り組みの概要 | 米玉利 貞幸 |
| 2. 車両開発初期段階におけるAIを活用した革新的アプローチ | 森田 剛史 |
| 3. 車両評価手法としてのMBD | |
| 1. 車両レベルでの部品評価の重要性とその方策 | 増田真也 |
| 2. 部品特性が与える車両への影響 | 西澤 透 |

現在自動車開発において、中国企業を中心にコストや Time to market 競争が激化しており、加えて高い品質競争力を併せ持つことが重要になってきています。やはり最も大きな差はアップストリームにおいてどれだけ、モデルベースで検討をやり切ってそれを信じてすすめることができるか。原理原則に基づいて構築されたモデルだけでなく、さらに先の領域の取りためたビッグデータに基づく機械学習が出した答えを信じて進めるところに競争はシフトしつつあります。これらはOEMだけでなく、サプライヤも同じ時間軸で進める必要があります。今回世界の最先端の開発手法やアプローチを紹介し、技術立国日本を支えるサプライヤの皆様が世界で競争力を維持するための変革のトリガーを提案いたします。

< 講師略歴 > 米玉利 貞幸 (よねたまり さだゆき)

1986/4 九州大学工学部動力機械工学科卒業後に日産自動車入社

ディーゼルエンジンのチーフエンジニア、ニッサンテクニカルセンターヨーロッパVP、

プログラムダイレクター (ピックアップトラック、商用車担当)、ルノー社出向 (欧州品質VP)などを歴任

2016/4 アライアンスダイレクターとして日産・ルノーのトランスミッションを担当後2020/4から副本部長として全パワートレインを担当

2022/4 エイヴィエルジャパン取締役社長

